



羽津だより

発行者
 羽津地区まちづくり推進協議会
 広報委員会
 広報No.30 平成28年3月発行
 E-mail koho@hazu.org

障害児との交流餅つき大会 1月24日(日) 障害者福祉部会

羽津会館にて障害児との交流を目的とした餅つき大会が開催されました。生憎の寒空にもかかわらず、約300名が参加し、搗きたての餅と熱々の豚汁を楽しみました。子供たちは子供用の小さな杵で競うように搗いていました。最後は、恒例のビンゴゲームで盛り上がり無事に終了しました。



キッズ料理教室「羽津おうちごはん」 2月6日(土) 児童福祉部会

子供だけの料理教室が開催されました。講師の横山美八子さんは、伊勢、鈴鹿、桑名で子供だけの料理教室を開いています。参加した子供達が考えながら生き生きと料理に取り組み、自主性を育むのに効果があるということで、羽津地区でも取り入れました。



山上敏樹氏による親育講座 2月6日(土) 女性委員会

桑名アイデア楽工コウチョウの山上敏樹さんに「子供の夢を育むソウゾウリョク」と題して講演をしていただきました。2つのソウゾウリョク(想像力と創造力)を伸ばしてやるには、親としてどうサポートするかを熱心に、且つ面白おかしく話していただき、大好評でした。



護身術講習会 3月6日(日) 健全育成部会

少林寺拳法の有段者の方を講師にお招きし、護身術を教えていただきました。襲ってきた相手と戦うのは難しいので、相手を少し怯ませて、その間に逃げることを基本に、実技指導をして頂きました。受講者の方々は楽しそうに体を動かしていて、講師からも「いい雰囲気ですね」と好評でした。



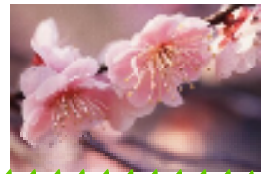
「サロンde志氏我野」開設時期についてのお断り

サロンde志氏我野開設準備委員会

サロンに使用する建物の見積りを取得したところ、当初予算をオーバーすることが確実になりました。そのため、予算増額の手続きを行い仕様を見直した上で、改めて見積りを取得し工事業者を決定することになりました。そのため、サロンの開設時期は7月ごろになる見込みです。オープンを心待ちにされている方々には誠に申し訳ございませんが、ご了解いただきますようお願い申し上げます。



あの団体何をしてるの？



羽津地区まちづくり推進協議会構成団体のご紹介

羽津地区民生委員児童委員協議会

- ① 昭和11年に発足した方面委員を起源とし、法により目的・職務が定められている。
 - ◇住民の生活状況を必要に応じ適切に把握
 - ◇援助を必要とする者が福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供その他の援助を行う
 - ◇その他、必要に応じて住民の福祉の増進を図るための活動を行う
- ② 民生委員（児童委員兼務） 22名
主任児童委員 2名 計24名
- ③ 月1回の定例会
高齢者のひとり暮らしの集い
地区研修 約3回



羽津地区青少年育成協議会

- ① 犯罪などから子供たちを守り健全な地域社会を作るために各地区の子供会が集まり昭和37年に四子連が結成されたのを機に羽津地区内の組織として結成。
- ② 会長1名、副会長2名、書記1名、会計1名
専門部（研修部、文化部、野外部、体育部、広報部）部長各1名、副部長各若干名
会計監査1名、外部監査1名、安全部1名
- ③ 研修部：KYT活動、AED講習会
文化部：ふれあい電車旅行
野外部：野外キャンプ
体育部：球技大会（ドッジボール大会）
本部会（9～10回/年）：本部役員による会議

羽津地区老人クラブ「春風会」

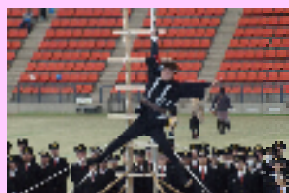
- ① 地域を基盤とする概ね60歳以上の自主的な組織。仲間作りを通して生きがいと健康づくりに努め、生き生きとしたシニアライフを目指す。これまでに培った知識や経験を生かして地域の諸団体と共同して地域を豊かにする社会活動に取り組み明るい長寿社会づくりに努めている。
- ② 会員767名（男332名、女435名）
- ③ まち協活動への参加。
幼稚園児とのふれあい行事への参加。幼稚園、保育園に毎月1,2回、4～5名が参加し“おばあちゃんといっしょ”をしている。
グラウンドゴルフ大会2回、幼稚園の春・秋の植付と収穫、園児との月々の遊び、神社清掃、四日市市花火大会後の清掃等のほか、市連合会行事にも参加。

四日市北地区交通安全協会羽津支部

- ① 交通事故防止のため、交通道德の普及と交通安全の実現に寄与する。
- ② 各町から推薦された35名で構成。男性4班、女性1班編成。
- ③ 交通安全広報啓発活動…まち協各行事で歩行者の安全確保や交通整理を実施。地区文化祭で子ども免許証の作成、反射板の配布、安協キャラクター「ストッピーくん」との触れ合いを通じた啓発。
四季の交通安全運動への参加…子供たちの登校時に各町で立哨。
お年寄りや子供の安全教育活動…まち協主催の自転車講習会で正しい自転車の乗り方等の支援。
防犯活動…地区の青色回転灯装着車（青パト）によるパトロールを分担（週1回）。

四日市市消防団羽津分団

- ① 「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害等に対応する。
- ② 分団長1名、副分団長1名、部長2名、班長4名、団員 14名
- ③ 消火活動、救助活動、水災活動、消火・防災訓練、救命講習会、防火啓発活動



羽津地区体育振興協議会

- ① 地区住民のスポーツを通じた親睦と各年代を対象とした体力の向上。
昭和40年代に発足したソフトボール同好会を母体とし、社協の傘下に入り体育振興協議会と改称・改組。
- ② 会長、副会長、会計の三役と各小学校区のスポーツ推進委員、ソフトボール部、グラウンドゴルフ部、レクスポ部（インディアカ、タスポニー）で構成。全23名。
- ③ ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会を開催するほか、県・市・ブロックが開催する大会等に参加。
ファミリーバドミントン、ソフトバレーボール、ウォーキング、ロゲイニングなどの大会も、企画・開催



記事の見方

- ①団体の目的、設立経緯
- ②団体の構成
- ③活動内容



羽津スポーツ少年団育成会

- ①スポーツを通じて喜びや楽しさを体験するとともに、仲間との連帯や友情を育て、協調性や創造性などを育む。
- ②羽津小学校・羽津北小学校の1年生から6年生で構成。羽津野球部15人、羽津北野球部24人。剣道部10人、サッカー部79人
ハンドボール部 30人。
- ③羽津野球部 月・水曜日休み
羽津北野球部 月・水曜日休み
剣道部 土・日曜日練習
サッカー部（3年生以上） 月・金・土曜日練習
（1・2年生） 土曜日練習
ハンドボール部 日曜日練習

羽津保護司会

- ①犯罪を犯した者及び非行のある少年の改善更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、地域社会の浄化を図る。
- ②地区内の保護司6名で構成。
- ③法務省主催の「社会を明るくする運動」に合わせ、まち協の行事などの際に啓発活動を実施。保護司として、犯罪や非行をした人に対して、更生を図るための約束事を守るように指導するとともに、生活上の助言や就労の援助などを行い、その立ち直りをサポート。



羽津地区更生保護女性の会

- ①更生保護女性の会は、非行や犯罪をなくし、過ちを犯した人たちの立ち直りを支援する全国組織。
- ②会員数113名。会長1名、副会長1名、会計1名、書記1名、監査2名。
- ③通学路パトロール 月1回、羽津小学校・羽津北小学校の下校時に立哨
社会を明るくする運動の啓発
薬物乱用防止セミナー及びキャンペーン
県・市の研修会参加
施設視察研修会参加
三重刑務所バザー参加協力
四日市花チャリティーバザー参加

四日市母子寡婦福祉会羽津支部

- ①昭和23年に発足した四日市未亡人会を起源とし、会員相互の自立向上に努め、力を合わせ、支えあい、助け合い、励ましあいながら幸せづくりに取り組む。
- ②羽津支部56名。
市内15地区に支部があり、全市で746名。
- ③羽津支部独自の活動はなく、県・市の活動に参加。
親睦研修旅行（1泊・日帰り旅行）
母と子のふれあい事業（1日社会見学）
陶芸教室、ちぎり絵サークル
母子でクッキーづくり
趣味の作品展
母子寡婦福祉大会



羽津学童保育所

- ①保護者の就労等により放課後に留守家庭となる児童に対して「生活の場」を提供する。
平成19年に立ち上げ、平成23年から2学童で運営。
- ②児童数は羽津学童保育所39名、羽津北学童保育所34名、指導員数18名。（平成28年4月時点）
指導員、保護者OB、保護者役員で組織する運営委員会で事業を運営。
- ③日曜日、盆休み、正月以外は開所。
月～金曜日 13時～19時
土曜日、学校休校日 8時～19時
家庭で過ごすのと同じように、休息したり、おやつを食べたり、友達と遊び、宿題もする「放課後の生活の場」を提供

NPO法人 緑の会羽津

- ①公園の維持管理を通して青少年の健全育成と世代間交流に貢献するとともに、羽津地区を花と緑で安らぎのある街にする。
平成12年、垂坂公園・羽津山緑地が完成した際に、ボランティアで始めたのが起源。
- ②会員数44名（男25名、女19名）。業務部、花植栽部、イベント部、広報部、事務局で組織。
- ③垂坂公園・羽津山緑地と霞ヶ浦緑地の維持管理（四日市市からの受託業務）
両緑地の花壇の維持管理、羽津中学校・霞ヶ浦駅前広場の花壇及び羽津北小学校「子供の広場」の花壇の花植え
公園で自然学習と世代間交流を目的としたイベントを企画・運営

羽津子育て支援びよびよ

- ①核家族化が進み、家で引きこもったり、近所に相談できる人がいないなど子育ての孤立や不安、ストレスに悩む母親たちをサポートする。
- ②民生・児童委員を中心とする19名で構成。
- ③毎週水曜日、羽津地区市民センターで「遊ぼう会」を開催。
その他、「乳幼児のための救急救命講座」、「絵本の読み聞かせ」、「クリスマス会」、「にこにこミュージックボックスによるリズム遊び」等を羽津地区市民センターで開催。



ふれあいの会

- ①高齢者社会に向けて、地域で支えあう仕組みを作りたい、自分達で何か役立つことができればとの思いで平成元年に結成。
- ②地域内在住者17名で構成。
- ③毎月1回程度定例会開催。
「寝たきり老人宅の訪問」は事前に作成した手作り品、手作り菓子、メッセージカードを持って民生委員と一緒に訪問する。
「ひとり暮らしの集い」は前日の買物、下準備、当日の味ごはん、おかずの手配等を行い、民生委員、高齢者福祉部会員と協力し、交流を行う。文化祭時、バザーで味ごはんの販売を行う。研修として年1回バス旅行を行う。



羽津障がい児友の会「つばさ」

- ①会員相互の親睦を図るとともに、障害のある子供たちが地域の中で豊かに暮らしていけることを願い、その実現のための活動を行う。
- ②20名。
- ③月1回の定例会
保育園の保護者との交流会
施設等見学
勉強会



羽津小学校交通少年団

- ①交通安全の学習や活動を通して児童の健全な育成と交通安全意識の高揚および交通事故防止を図る。
- ②羽津小学校全校生徒約560名と羽津小学校PTA安全部20名（担当教諭5名を含む）で構成。代表はPTA安全部長。
- ③入団式（4月）
危険箇所点検（6月、校区内全域）
通学路交通安全キャンペーンへの参加（7月）
横断旗使用実施指導（6月、10月）
横断旗使用講習会（3月）
退団式（3月）
PTA安全部員は、外部の研修会にも参加。

羽津の歴史を学ぶ「羽津学」

羽津郷土史と民俗研究会

2月11日に「羽津学」第5講として文化財巡りを行いました。平成27年度の羽津学では、第1・2講で四日市空襲、第3・4講で羽津城主だった赤堀氏を取り上げました。羽津郷土史と民俗研究会は、毎月の最終月曜日に例会を開催しています。現在は、郷土史誌「はづ」第2巻の刊行に向けて準備を進めています。ふるさと羽津の歴史に興味のある方は一度覗いてみてはいかがでしょうか



編集後記

今年の羽津だよりは、何とか4号発行にこぎつけました。今号は羽津地区の各種団体の紹介特集としましたが、少しはお分かりいただけましたでしょうか。いろいろな団体が羽津のまちづくりに協力してくれています。団体への加入を通してまちづくりに参加してくれる方が増えるとうれしいですが…。 広報委員会より